BULK CHEMICALS

株式会社バルクケミカルズ・ジャパン

2014年4月5日作成 2015年6月18日改定 整理番号 tc1000QC-002

製品データ情報

TRI-CLPS®1000QC

A. 特長

TRI-CLPS®1000QC は、三価クロム・リン酸フリーの塗布型金属表面処理薬品で無色透明な被膜を生成し、特にアルミ押出加工品に適しています。

適正に生成された被膜は、塗膜と強度な密着性と塗膜下の耐食性に優れています。

B. 使用方法

1) 建浴方法

処理槽に水を入れ、本製品を以下の分量で攪拌しながら加えます。

処理槽容量 1,000L の場合

TRI-CLPS®1000QC: 30~50 L

2) コントロールポイント (標準の作業状態)

有効成分滴定.....1.5~2.5ml

反応生成物滴定.....48.0ml 以下

pH(純水希釈の場合).....2.8~3.2

温度.....常温(15~35°C)

処理時間.....15秒以上

(純水もしくはRO水を使用できない場合は、別途条件設定が必要です)

C. 下地処理

TRI-CLPS®1000QC を適用する前に、バルククリーナー (酸タイプ、アルカリタイプ) での脱脂が必要です。

もし素材に強固な油が付着している場合は、脱脂力を高めるためバルククリーナーの処理液に添加剤 (バルクソル) を添加する必要があります。

脱脂後は完全に水洗洗浄する必要があります。TRI-CLPS®1000QC 槽へのコンタミを避けるため、水洗槽は常にオーバーフローをお願いします。

BULK CHEMICALS

株式会社バルクケミカルズ・ジャパン

TRI-CLPS®1000QC 処理後素材を速やかに乾燥させ、塗装工程に移行してください。
BCJ 技術スタッフが素材や要求性能に合わせた最適な処理工程と処理条件をご提示します。

D. 処理槽のメンテナンス

TRI-CLPS®1000QC 処理液は、有効成分滴定値に従って補給を行います。

有効成分滴定

1. 処理液 100ml を、125ml 三角フラスコにサンプリングします。
2. 指示薬 NO. 10 (ブロムフェノールブルー) を 6~8 滴加えます。
3. 試薬 NO. 11 (0. 1N NaOH) をビュレットの目盛ゼロ位置まで補充します。
4. 三角フラスコを攪拌しながら、試薬 NO. 11 をゆっくり滴下し、処理液の緑色が消え淡い青色に変化したところを終点とします。
5. 終点まで達した際の試薬 NO. 11 の滴下量 (ml) を記録します。

注意) 終点の判別は、白地の背景に適度の照明で確認してください。

ほとんどの対象物は適正なバルククリーナーで脱脂可能です。もし対象物の汚れが酷く更に強い洗浄が必要な場合は、バルクソル (洗浄添加剤) をバルククリーナーに添加します。
脱脂後には水洗が必要です。化成槽への持込を防ぐ為に水洗は常時オーバーフローさせます。
TRI-CLPS®1000QC 工程へのクリーナーの残留は、極力防ぎます。

注意) 当社スタッフが適したタイプの脱脂剤をライン特性にあわせて選定いたします。

補給

有効成分滴定値を 0. 1ml 上昇させるためには、処理液容量に対し 0. 2%分 (1000 L 槽であれば 2 L) の TRI-CLPS®1000QC を補給します。

反応生成物滴定

1. 処理液 100ml を、125ml 三角フラスコにサンプリングします。
2. 指示薬 NO. 3 (フェノールフタレイン) を 6~8 滴加えます。
3. 試薬 NO. 11 (0. 1N NaOH) をビュレットの目盛ゼロ位置まで補充します。
4. 三角フラスコを攪拌しながら、試薬 NO. 11 をゆっくり滴下し、処理液に淡いピンク色が付き、その淡いピンク色が 20 秒間消えずに残るようになったところを終点とします。
5. 終点まで達した際の試薬 NO. 11 の滴下量 (ml) を記録します。

BULK CHEMICALS

株式会社バルクケミカルズ・ジャパン

もし、反応生成物滴定値が 48ml を超えた場合、処理液の安定化が必要です。継続的なオーバーフロー又は部分更新を行ってください。

部分更新もしくは全更新を行う場合は、再度セクションDを参照してください。

E. 運用上の注意

- 1) ここで示した初期設定値や補給データ等は、一般的な設備に対する標準的なものです。個々のラインに合った条件は当社技術スタッフが提示いたします。
- 2) 処理品の形状で液がたまりやすい箇所がある場合は、きれいなコンプレッションエアによるエアブローにて溜まった処理液を除去してください。
- 3) 浸漬処理の場合、TRI-CLPS®1000QC 処理槽内の攪拌を遂行してください。(エアによる攪拌は控えてください。)
- 4) 乾燥後の処理品を取り扱う場合、必ずきれいな木綿の手袋を着用してください。
- 5) 処理品の乾燥は、間接燃焼等にて行い、直接燃焼による煤や不完全燃焼ガスのコンタミを避けてください。
- 6) TRI-CLPS®1000QC を取り扱う場合は、必ずゴム手袋とフェイスガードを着用してください。
- 7) 万が一、TRI-CLPS®1000QC の薬品および処理液が皮膚に付着した場合は、速やかに流水で洗い流してください。

F. 設備上の注意

1. TRI-CLPS®1000QC が適用される処理装置は、ステンレス鋼 (SUS304 もしくは SUS316)、あるいは耐酸性素材で製作してください。
2. バスケット、タンブリングバレル、コンベア等、全工程に係わる設備や備品も耐酸性で製作してください。

G. 保管上の注意

1. 製造日より1年以内に使用してください。

BULK CHEMICALS

株式会社バルクケミカルズ・ジャパン

2. TRI-CLPS®1000QC 薬品は、きれいな乾燥した倉庫で保管してください。
3. TRI-CLPS®1000QC 薬品は、融点以上 40°C以下の環境で保管してください。決して直射日光が当たる屋外で保管しないでください。

TRI-CLPS®、Bulk Kleen®、Bulk Sol™ は、米国バルクケミカルズ社 (Bulk Chemicals, Incorporated) の登録商標です。